

TOPICS

こんなことを
話し合い
決めました

令和5年第2回定例会を、2月20日(月)から3月17日(金)までの26日間の会期で行いました。

条例の改正や当初予算などの議案が提出され、審査・審議の結果、すべて原案どおり可決しました。

今号では、この中から3件を詳しく紹介します。

今回の議案は35件

※議案一覧は5ページに掲載。

- 条例 …………… 13件
- その他 …………… 8件
- 予算 …………… 13件
- 議員提出 …………… 1件



TOPIC
01

福祉とアートをテーマに

本渡看護専門学校と東京藝術大学 事業連携へ

東京藝術大学との連携事業を
含む一般会計予算を可決

新規事業や拡充事業を含む総額544億7,330万7千円となる令和5年度天草市一般会計予算は、4日間にわたる予算決算委員会と本会議で審査・審議を行い、原案どおり可決しました。

※東京藝術大学との連携事業以外の主な事業については、6〜7ページで紹介しています。



本渡看護専門学校

本渡看護専門学校生が
東京藝術大学の特別講義を受講

● 東京藝術大学との連携事業 198万6千円

内容

東京藝術大学が実施する人材育成プログラム(通称:DOOR)などに、令和5年度から本渡看護専門学校の学生が参加し、人間一人ひとりの「あり方」や「多様性」を学べる環境を整備することで、看護・福祉に関する知識の向上を図る。

質疑

問 国家試験合格を目指す看護学生の負担になることはないのか。

答 特別講義を受講するために授業数を変更することはなく、授業時間内のホームルームや研修の時間を活用し、学生の負担にならないよう配慮していく。

問 看護を優先した学生の育成をすべきでは。

答 医療従事の職業は社会の全ての人と関わるものであり、あらゆる人に対し、社会的対応能力を身につける必要がある。多角的なものの見方や考え方を学ぶことができる本事業は、その基盤として必要と考える。

問 全国初の取組だが、今後の展開はどのように考えているのか。

答 「福祉とアート」という先進的な取組を継続することにより、本校の魅力をさらに高め、学生の確保につなげたい。また、広く市民に還元できるように検討していきたい。

東京藝術大学って、どんな大学？

東京藝術大学は、我が国唯一の国立総合芸術大学で、1949年の創立以来、自由と創造の精神を尊重し、芸術文化の発展に寄与されています。芸術をもって社会に貢献することも基本的な目標の一つとされています。

どんなことを学べるの？

- ① 「福祉とアート」をテーマとした特別講義(「ダイバーシティ実践論」、「ケア言論」)をオンラインで受講。
- ② 大学で行われるワークショップや人体デッサンの実技等への参加。
- ③ 本渡看護専門学校において日比野克彦学長によるワークショップに参加。

東京藝術大学のプログラムに参加することになった経緯は？

天草市で開催している「天草大陶磁器展」に第1回の開催から関わっておられる芸術家の日比野氏が令和4年4月に同大学の学長に就任され、学長から紹介いただいたことがきっかけとなりました。

